

令和3年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (天城町)

事業名	伝統芸能継承活動	実施時期	練習：毎年9月から12月 披露：11月
趣旨又は目的	この西阿木名地区で昔から大切にされてきた各伝統芸能（棒踊り・踊り・三味線・島唄）の継承・保存を目的として、10年以上前から本校で取り組んできている活動である。中学校に進学後も、小中学生と一緒に地域行事や学校行事等で芸能を披露し、学校全体で継承活動に取り組んでいる。		
参加者	○ 西阿木名小学校 児童 ○ 西阿木名小学校 教職員 ※ ◆は指導者 ◆ 西阿木名民謡保存会員 10名 ◆ 三味線指導者（中水勝久氏）		
活動概要	西阿木名民謡保存会や地域指導者の方々に直接、学校に来ていただき、西阿木名棒踊りや阿木名風土記の唄を教えていただいている。また、保存会の方々の唄に合わせて、児童生徒が踊りを練習し体得している。 西阿木名棒踊りや阿木名風土記などの唄は、方言で唄われており、児童生徒にとって容易に理解できるものではない。そのため、地域住民である教員や、民謡保存会の方々が、これらの伝統芸能の歌詞の意味や、踊られた時代背景などを、しっかりと教示することに努めている。 学校で三味線や唄、踊りを練習した子供たちは、集落行事にも積極的に参加し、その成果を披露しており、伝統芸能を介した民謡保存会、地域、学校の交流の循環が形成されつつある。		
活動写真 [説明]			
	【西阿木名棒踊りの様子】		
			
	【三味線演奏の様子】		
			
【地域指導者による三味線指導の様子】			
			
【阿木名風土記披露の様子】			